

あーち通信 2005年12月号 (第3号)

神戸大学大学院総合人間科学研究科ヒューマン・コミュニティ創成研究センター

(HCセンター・サテライト施設「のびやかスペースあーち」事務局)

〒657-0015 神戸市灘区鶴甲3-11

TEL 078-803-7972 / 7973 FAX 078-803-7971

e-mail: zda@kobe-u.ac.jp, itoa@kobe-u.ac.jp

特集 「あーち」の創設にあたって(3)

「あーち」の設計と設備について

伊藤 篤 (神戸大学HCセンター、子ども・家庭支援部門)

今回は、「あーち」がどのような考え方で設計されたのかについて、そして、設備のどんなところに工夫がなされているのかについてお話しします。

「あーち」の最大の特長は、どんな人でもかかわることができる、その人たちが自由に自己実現できることです。そのためには、バリアフリーであること、多目的な活動に対応できる空間であることが必要な条件になってきます。前者に関して言えば、「あーち」には段差はありません。フローリングのコーナー(ふらっと)は奥にある畳の関係で段を高くしてありますが、入り口は緩やかなスロープになっています。後者に関しては、体を動かす活動が主に「ふらっと」のコーナーで、絵を描いたりする造形活動が主に「あーと」のコーナーです。作品を吊って乾かすためのバトン、絵の具を落とすための水回りも用意しました。音楽を楽しむ活動は、主にピアノのある「こらぼ」のコーナーでおこなうことができます。また、「こらぼ」は、椅子やテーブルを入れれば、研修会・講習や講座・会議などに利用できますし、絵画を吊るすためのピクチャーレールとスポットライトも備えられていますので、展示会も開くことができ

ます。まさに、多様な活動がコラボレート(協働)可能な空間であり、博物館実習の展示学のフィールドにも利用しています。

そして、これら3つのコーナーをつなぐ位置に「情報」コーナーを配置しました。ここは、木製のテーブルと椅子を用意し、絵本・児童図書が備えられていると同時に、地域から寄せられた情報を利用者のかたがたが受信も発信もできるように工夫してあります。「情報」コーナーは、交流スペースも兼ねていますので、飲み物の自動販売機があり、飲食自由です。皆さん、ぜひ、情報交換や交流促進の場としてご利用ください。

最後に、「あーち」の壁などに塗られたペンキの話をしたと思います。社会的にシックハウス症候群が問題になっていますが、小さな子どもも遊びにくるのが「あーち」です。そこで、設計の段階で大学側のスタッフと業者の皆さんが、あらかじめ「なめても毒性がない」素材を用意してくれました。竣工時の検査でも、まったく無害であるという結果が得られたことは言うまでもありません。でも、やたらと壁をなめないでね。ほこりは少しはついていきますから……。

「あーち」でのボランティア

「あーち」では、まだまだボランティアさんの手が足りません。みんなで創る、みんなの施設にしていくために、みなさんにできること、やりたいことをご提案ください。プログラムの企画・運営、プログラムの補助、職員の補佐、掃除その他、お気軽にお手伝い下さい。

「あーち」の設備ができるまで

津田英二（神戸大学HCセンター、障害共生支援部門）

神戸大学が神戸市灘区から、「灘区役所が移転するので庁舎跡地を活用しませんか」という打診をいただいたのは、2003年末でした。その後、いろいろと相談をしながら、間取りや部屋の使い道などを決めていきました。

実は、建物が老朽化していて、お世辞にもきれいとはいえない状態、太い柱の多い構造、交通の便の悪さなどから、はじめは大学でこの場所を借りるのはよそうという話でまともっていませんでした。それでも、こうした場所を活用することに夢を抱いてしまった伊藤篤先生と私が、2004年夏ぐらいから、執念深く話を進めました。どういう契約で神戸市と大学とが契約を結ぶのか、改修や運営のためのお金はどこから出てくるのか、施設の運営をする人はどうするのかなど、最初から課題は山積みでした。

2005年4月に開設された神戸大学大学院総合人間科学研究科ヒューマン・コミュニティ創成研究センター（以下、HCセンターと略します）が、この話を進める主体になりました。HCセンターは、大学の新しい取り組みとして、地域社会や行政、学校、企業、NPOなどと連携協力して、実践的な研究を進めていこうとする組織です。HCセンターの子ども・家庭支援部門で、灘区とすでに協働していた伊藤篤先生は、子育て支援の事業をここで展開することになりました。また、私は障害共生支援部門の事業として、積極的に関わるようになりました。

はじめは、子育て支援の部屋（今の「ふらっと・あーち」）、表現活動をする作業スペース（今の「あーと・あーち」）、表現を公開・交流・発信するギャラリースペース（今の「こらぼ・あーち」）をつくらうという案でした。他にも、いろいろな人たちの居場所、交流を目的とした、障害のある

人たちもいっしょに働けるような喫茶コーナーをつくらうという案なども出ましたが、法令などの関係で実現しませんでした。その代わりとして、さまざまな情報や多様な資料を置いて、談話もできる今の「情報コーナー」になりました。

だいたい案が固まってきた2004年冬ぐらいから、これらのスペースをどこに、どのくらいの広さで配置するかという検討、それぞれの用途に応じた工夫についての検討に入りました。この作業は、2005年1月に発足した準備委員会に参加していただいた地域の方々、行政や企業の方々、それに一級建築士、大学施設部の専門家といった方々に関わっていただいて、改修工事が始まる6月くらいまで続けました。

配置について特に気を使ったのは、光と安全でした。神戸市から借りたスペースで一番明るいのは、現在の「ふらっと・あーち」の部分です。それ以外のスペースは蛍光灯に頼らなければならないということが、悩みの種でした。安全面では、少ないスタッフの視線からでも、死角ができるだけ少ないこと、それに緊急事態の時の避難経路を確保することをめざしました。

これらの検討によって、「あーち」の空間のアウトラインができました。6月には、それをもとに、実際の改修工事に入りました。改修中にも、大学の事務方、施工業者の善意で、いろいろな工夫が付け加わりました。老朽化した旧灘区役所庁舎跡地の一角が、こうして生まれ変わりました。はじめは、オンボロでも意気込みだけは……、と考えて交渉をしてきました。その時には想像もしなかった素敵な空間ができました。たくさんのご協力をいただいたみなさんのお陰です。この場を借りて篤くお礼申し上げます。ありがとうございました。

ご寄付について

「あーち」を支援する任意団体「子育てと共生を考える会」が創設されました。寄付金はこちらの会を通して大学に対する寄付となり、大学から「あーち」へ予算配分されます。ご寄付は、伊藤か津田に直接お渡しいただくか、下記口座にお振り込みいただき、住所、氏名、電話番号をお教え下さい。

三井住友銀行 六甲支店 普通（口座番号）4195504（名義）子育てと共生を考える会

また、「子育てと共生を考える会」には、賛助会員制度があります。賛助会員になっていただける方は、直接お尋ねくださるか、あるいは事務局宛に住所、氏名、電話番号をご連絡いただいた上で、上記口座に会費をお振り込み下さい。会費は個人会員が5,000円、法人会員が30,000円です。

「あーち」での、いろいろなプログラム(12月)

音楽の広場 誰でもが音楽を楽しみ、音楽を通していろいろな人と仲良くなることをめざす広場です。12月24日はクリスマス特別バージョン!

メダカ親子クラブ いろいろな遊びをしながら楽しく学びます。対象は主に小学生。リーダーは、学校の先生や、先生の経験者です。らくがきおばさんがやってくる 自分の中から湧き出てくる表現を大切にしながら、色や形で遊びます。3歳以上のお子さんが対象。リーダーはらくがきおばさん(能勢さん)です。自由に楽しむ絵の世界 いろいろな方法で絵を描いてみましょう。絵を描くのがもっとも楽しくなりますよ。リーダーは前田さんです。どなたでもどうぞ。

お話の国 お話を聞きながら、ゆったりとした時間を過ごしましょう。おとなもいっしょに、贅沢な時間をどうぞ。リーダーは、マーガレットの会のみなさんです。どなたでもご参加下さい。

紙芝居 いろいろな年齢に応じた紙芝居。リーダーは北林さんです。

折り紙 折り紙名人に来ていただいています。昔ながらの折り紙の定番から、新しい創作折り紙まで、みんなでワイワイ言いながら折ります。リーダーは、井上さんと杉本さんです。どなたでも。

人形遊び 人形を遊びながら、みんな仲良くなりましょう。人形になりきってみましょう。いろいろな楽しいお話しも飛び出すかも...。リーダーは、中井さんです。どなたでもどうぞ。

立体の紙工作 おもしろい形や色の、みなさんだけのお面やとびだす絵本をつくってみましょう。リーダーは、中さんです。4歳以上のお子さんから大人まで、どうぞ。

環境プログラム 地球を守るヒーローになろう!リーダーは、学生や企業関係の方や学校の先生やボランティアのみなさんです。4歳

以上のお子さんから大人まで、どうぞ。

キッズ・サイエンスカフェ 世の中には、不思議なことがいっぱい! その不思議を追いかけている科学者と、楽しいお話しをしましょう。リーダーは、伊藤真之先生です。

ほのぼの音ランド ちっちゃいお子さまと保護者のみなさま、いっしょに楽しく音で遊んでみましょう。いつもとは違う子どもの表情に出会えるかも.....。リーダーは淵田さんです。

ぽっとらっく 障害のある子どもを対象にした、いろいろな相談やセラピーの場です。リーダーは高田哲(さとし)先生です。

ほっと 発達障害のある子どもを対象にした、学習プログラムです。リーダーは山根さんで、学習支援者といっしょに楽しく学びます。定員制。

心に浮かぶ言葉・ことばの広がり 言葉の芸術ワークショップ。参加者のみなさんと、ことばの広がりと一緒に感じ取り、考えます。リーダーは鈴木幹雄先生です。

誰でもたまり場 障害のあるなしに関わらず、誰でもが、安心してリラックスできる空間づくり。

みんなで大掃除 いつまでもきれいな場所にしておくために、おとなも子どももみんなで楽しくお掃除をしましょう。どなたでもどうぞ。

筆をもとう 大人向けプログラム。きれいな字のためのちょっとしたアドバイス。リーダーは沼館さん。(託児はありません。)

コンピュータで遊ぼう スクイークというソフトを使って、絵を描いて、その絵を動かします。小学校低学年の子どもたち集まれー。リーダーは高橋真先生です。

クイリング教室 お母さん向け紙工作プログラム。予約制。

お母さんのおしゃべり広場 お気軽にどうぞ。

【資料】 「あーち」に関するこれまでの主な新聞記事(いずれも2005年) 2005年11月末現在

- ・一般的な記事 神戸新聞4月7日、読売新聞4月22日、日本経済新聞11月14日
- ・オープニングセレモニー 神戸新聞9月4日、読売新聞9月20日
- ・博物館実習「小川譲の見た景色」 神戸新聞10月26日、読売新聞10月26日
- ・博物館実習「水族館がやってきた」 神戸新聞11月26日